※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和５年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校 生物基礎」（啓林館）						
副教材等	エッセンスノート生物基礎　（大森　徹）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物の基礎的な分野を学習する。日常生活や社会とのかかわりを考えながら、健康や環境問題などと生物学の基礎知識を関連付けて考えることができるように学習していきたい。

授業では黒板を写してノートをとるだけではだめで、授業中に気づいたことや、担当の教員の発言の中で、後でノートを見返したときに自分の頭の中で授業の内容が再生されようなとり方が望ましい。

２　学習の到達目標

・　生物の多様性および、生物に共通する概念や原理・法則を理解する。
・　遺伝子・健康・環境など、日常生活や社会とのかかわりを考えるために必要な科学的素養を高める。
・　観察、実験を通して、生物や生命現象を探求する方法や姿勢を身につける。
・　生物や生命現象に対する畏敬の念を育み、生命を尊重する精神を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生命現象、環境などについて、基本的な概念や原理、共通性･多様性を理解し、知識を身に付けている。	生物や生命現象、環境などに問題を見い出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会とのかかわりを考えながら、生物や生命現象、環境問題などについて関心をもち、意欲的に探究しようとしている。 実験、実習を通して基本操作を習得している。また、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、考察を加えるなど探究する技能の基礎を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第1章　生物の特徴	1. 生物の特徴 (1)　生物の共通性と多様性 (2)　細胞と生物 (3)　細胞の構造 2. 生物とエネルギー (1)　代謝とエネルギー (2)　代謝と酵素 (3)　光合成と呼吸	a: 生物や生命現象、環境などについて、基本的な概念や原理、共通性・多様性を理解し、知識を身に付けているか。 b: 生物や生命現象、環境などに問題を見い出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現しているか。 c: 日常生活や社会とのかかわりを考えながら、生物や生命現象、環境問題などについて関心をもち、意欲的に探究しようとしているか。	定期考査	定期考査	観察 実験プリント 授業ノート ワークシート
1・2	第2章　遺伝子とその働き	1. 遺伝情報とDNA (1) DNA の構造 (2) DNAの複製 (3) 遺伝情報の分配 2. 遺伝情報とタンパク質の合成 (1) 遺伝子発現とタンパク質 (2) タンパク質の合成 (3) 遺伝情報と遺伝子発現		定期考査	定期考査	観察 実験プリント 授業ノート ワークシート レポート
2	第3章　神経系と内分泌系による調節	1. 情報の伝達 (1) 体液と恒常性 (2) 自律神経系と恒常性 (3) 内分泌系 (4) ホルモン分泌の調節 2. 体内環境の維持のしくみ (1) 血糖濃度の調節 (2) ヒトの体温調節 (3) 水分量の調節		定期考査	定期考査	観察 実験プリント 授業ノート ワークシート
2	第4章　免疫	1. 免疫の働き (1) 生体防御 (2) 自然免疫 (3) 獲得免疫 (4) 免疫と病気		定期考査	定期考査	観察 実験プリント 授業ノート ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

2・3	第5章　植生と遷移	1. 植生と遷移 (1) 環境 (2) 植生の遷移 (3) 遷移とバイオーム (4) 日本のバイオーム		定期考査	定期考査	観察 実験プリント 授業ノート ワークシート レポート
3	第6章　生態系とその保全	1. 生態系と生物の多様性 (1) 生態系における生物どうしのつながり (2) 種多様性と生物間の関係 2. 生態系のバランスと保全 (1) 生態系のバランスと変動 (2) 生態系の保全		定期考査	定期考査	観察 授業ノート ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度